

安曇野の原風景を巡る ふるさとウォッチングマップ

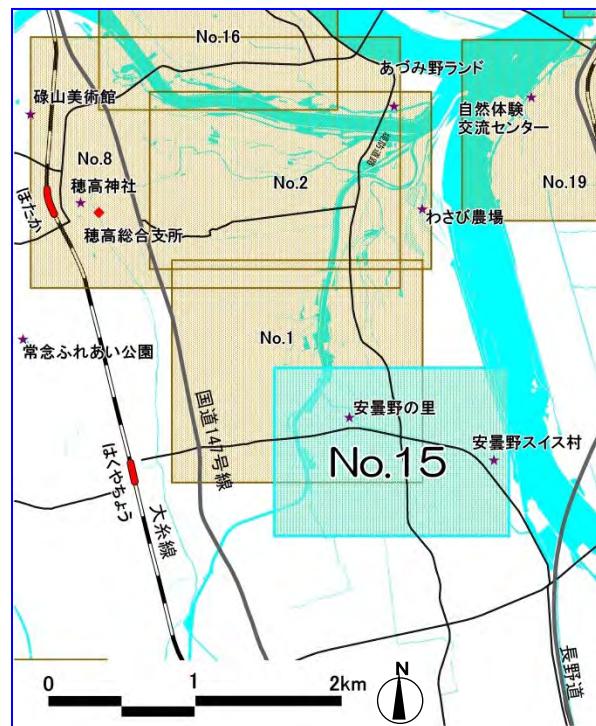
No.15

豊科重柳地区

一湧水と本棟造の里を訪ねてー

安曇野の扇端部に位置し、古くから湿地帯に柳が生い茂る場所が由来とされる重柳。名水百選「安曇野わさび田湧水群」の最上流部に位置し、清らかな湧水を利用したわさび栽培が盛んな地区です。

また、安曇野を代表する本棟造の民家群と屋敷林が数多く残り、歴史文化が薫る湧水の里を辿る魅力的なコースです。

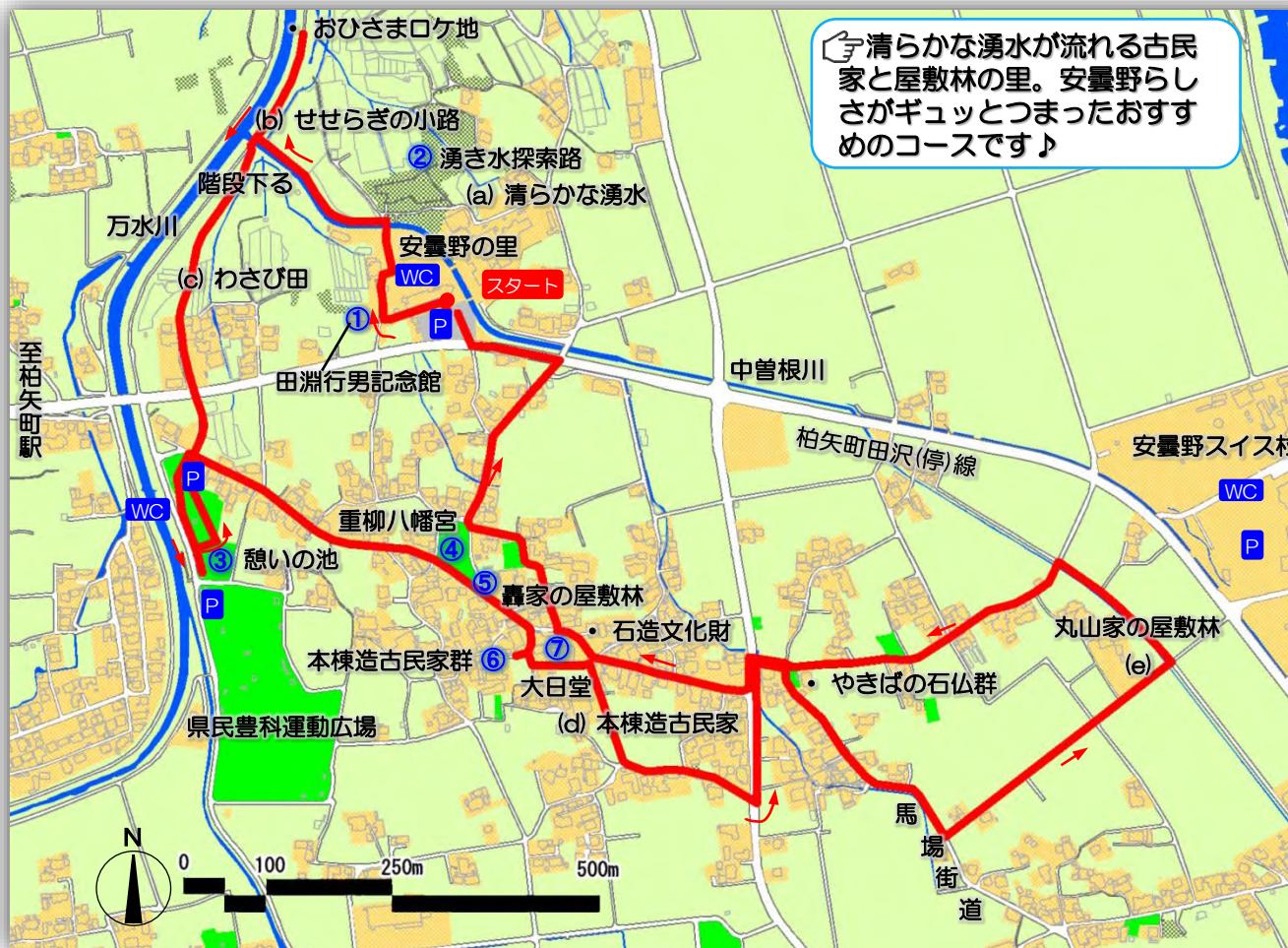


NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団
安曇野案内人俱楽部

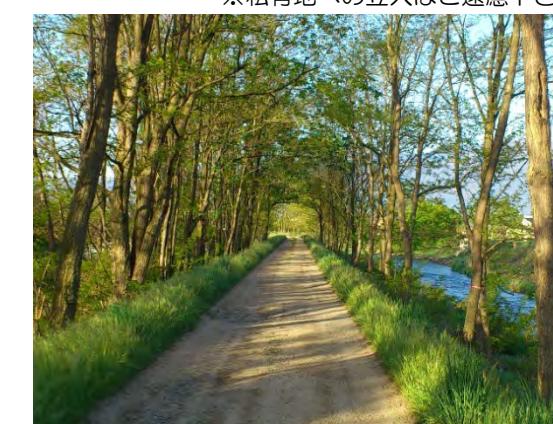
※本マップは下記のサイトからダウンロード可能です
<http://azumino-sanpo.info/>

◆コースタイム ※時間は歩速3km/時としての目安です（休憩含まず）

スタート 安曇野の里→約1.2km*24分→憩いの池→約0.5km*10分→重柳八幡宮→約1.3km*26分→丸山家の屋敷林→約1.1km*22分→轟家の屋敷林→約0.4km*8分→
ゴール 安曇野の里 【合計】約4.5km：1時間30分



(a) 清らかな湧水
ビオトープを巡る木道



(b) せせらぎの小路
万水川河畔の気持ちの良い小路



(c) わさび田
菜の花と常念岳との調和が美しい



(d) 本棟造の古民家
安曇野を代表する民家建築



(e) 丸山家の屋敷林
菜の花と常念岳との調和が美しい

【注】マップ内の情報はふるさとウォッチングを開催した2012年7月1日現在の内容です。

① 田淵行男記念館

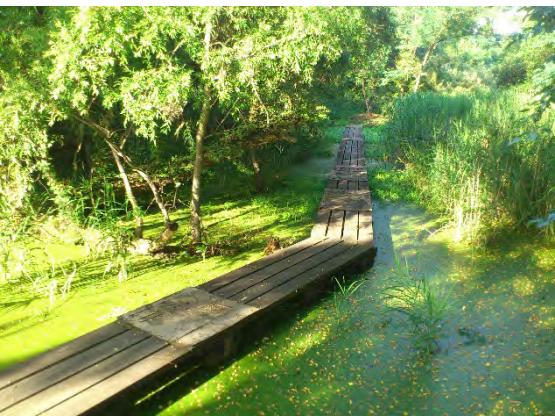
日本を代表する昆虫生態研究家で、自然写真家の田淵行男の作品や遺品を展示する記念館。わさび田に囲まれた山小屋風の外観で、平成2年(1990)7月に開館。地下1階の展示室からわさび田に出ることもでき、安曇野の自然と調和した素敵な記念館です。



わさび田に囲まれた田淵行男記念館

② 湧き水探索路

中曾根川の北側にある、訪れる人も少ない旧わさび田を生かした探索路。小高い森の中に清らかな湧水が流れ、貴重な動植物が数多く生息するビオトープになっています。木道に沿って水辺を散策することができ、静寂に包まれた安曇野のオアシスです。



木道のある湧き水探索路

③ 憩いの池

昭和60年(1985)に環境庁(現・環境省)の名水百選として認定され、池の畔に名水百選「安曇野わさび田湧水群」の記念碑が建っています。池の南端では今でも清らかな水がこんこんと湧き続け、その量は湧水群全体で日量約70万トン。湧水の温度は年間を通して13~15°Cと一定で、豊かな湧水は、わさび栽培やニジマスなどの養殖等に利用されています。



安曇野わさび田湧水群憩いの池

④ 重柳八幡宮

重柳の産土神で、ご祭神は譽田別尊(応神天皇)です。創建年は不明で檜の古木をはじめとする木立に囲まれ美しい里宮の風景を醸し出しています。一間社流造の本殿は素朴な装飾が特徴で、現存する棟札に天保7年(1836)と記されています。毎年9月23日の例大祭では、御舟が地区内を曳き回されます。

【重柳八幡宮祭り舟：市無形民俗文化財】



一間社流造八幡宮の本殿

⑤ 轄家の屋敷林

さながら武家屋敷を思わせる立派な石垣と冠木門、屋敷林に覆われた本棟造の母屋は威厳と優雅さがあります。江戸時代まで組頭を勤めた家柄で、明治2年(1869)の「会田騒動」の際に旧家母屋は焼失してしまいました。現母屋はその後の再建ですが、本棟造としては非常に完成された形式に属し、専門家の評価も高い建築物です。



本棟造の轄家

⑥ 本棟造古民家群

重柳地区の集落は、少し標高が高くて河川氾濫による被害を受けにくい場所にまとまっています。集落内には数多くの路地があり、安曇野の代表的な民家形式である本棟造の建物が数多く残っています。各戸の屋敷林は一体化し、集落全体がまるで大きな森のような独特な景観となっています。



屋敷林に囲まれた本棟造の民家

⑦ 大日堂

大日堂のご本尊の大日如来は、像高43cm、総高66cmで優雅に慈愛の相をしています。長らく秘仏として扱われてきましたが、現在では重柳地区の守り仏として住民によって大切にされています。

【木造大日如来坐像：市有形文化財】



大日堂大日如来像

わさび

重柳地区にはかつて梨畠が広がっていましたが、疫病により栽培が出来なくなり、代わりにわさびを移植し育てたところ良質のわさびが収穫できたとされています。安曇野の湧水は年間通して13~14°Cとわさび栽培に適していることもあります。その後急速に栽培が広がりました。ただし日差しが強まる春~秋にかけては水温が上がるため、露地栽培では寒冷紗を掛けて畑全体の水温が上がるのを防いでいます。



ふるさとウォッキングマップ No15